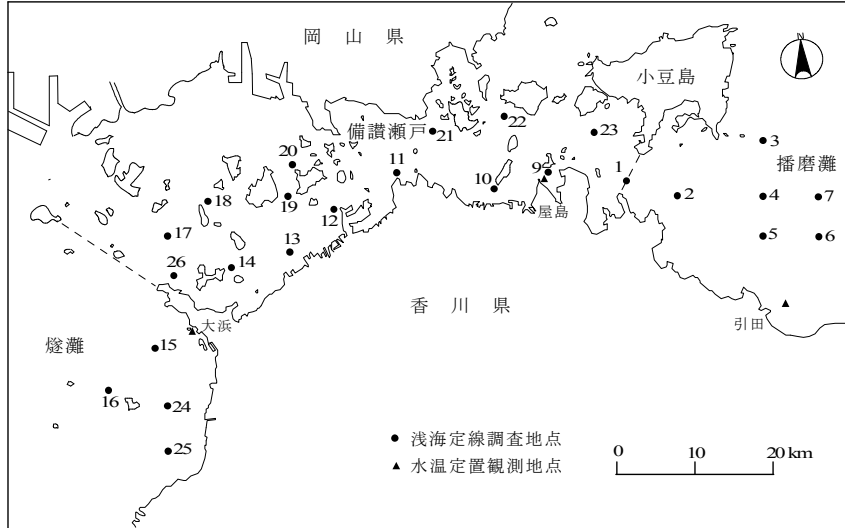


香川県漁海況情報 平成 23 年 9 月 (H23-6 号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

平成 23 年 9 月 1 日 (備讃瀬戸, 燧灘), 5 日 (播磨灘)

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「平年並みからやや高め」、塩分は「著しく低めから平年並み」、透明度は「著しく低めから著しく高め」、溶存酸素は「平年並みからかなり高め」であった。

9 月

		水 温 (°C)			塩 分 (PSU)			透 明 度 (m)	溶 存 酸 素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層		表層	底層
播 磨 灘	7地点平均値	26.6	26.5	25.9	30.1	31.0	31.2	3.9	4.20	4.06
	平年値	26.7	26.1	25.1	31.7	31.7	31.9	7.9	4.44	2.99
	平年偏差	-0.1	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.58	0.58
	標準偏差(σ)	0.9	0.8	0.9	0.7	0.7	0.5	1.9	0.50	0.59
	状 況	平年並み	平年並み	やや高め	著しく低め	やや低め	やや低め	著しく低め	平年並み	かなり高め
備 讃 瀬 戸	14地点平均値	27.4	27.4	27.4	31.5	31.7	31.7	6.6	4.29	4.06
	平年値	26.8	26.5	26.4	31.6	31.7	31.7	4.3	4.23	4.00
	平年偏差	0.7	0.9	1.0	-0.1	-0.1	-0.1	2.3	0.06	0.06
	標準偏差(σ)	0.9	0.9	0.9	1.0	0.8	0.8	1.1	0.30	0.28
	状 況	やや高め	やや高め	やや高め	平年並み	平年並み	平年並み	著しく高め	平年並み	平年並み
燧 灘	4地点平均値	28.9	26.7	25.1	31.8	32.0	32.1	12.5	4.80	3.61
	平年値	27.6	26.2	24.7	31.7	32.0	32.2	10.3	4.54	2.69
	平年偏差	1.3	0.6	0.4	0.1	0.0	-0.1	2.2	0.26	0.92
	標準偏差(σ)	1.1	1.0	1.0	1.1	0.7	0.6	2.6	0.53	0.71
	状 況	やや高め	やや高め	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	やや高め	平年並み	かなり高め

平年偏差 = 平均値 - 平年値

平年値の算出期間

水温、塩分及び透明度：昭和 48 年 (1973) 1 月～平成 13 年 (2002) 12 月

溶 存 酸 素：昭和 48 年 (1973) 2 月～平成 13 年 (2002) 12 月

水温は、毎月 1 日の値に補正。

平年並み $0\sigma \leq \text{平年偏差} < 0.6\sigma$ (σ : 標準偏差)

やや高め (やや低め) $0.6\sigma \leq \text{平年偏差} < 1.3\sigma$

かなり高め (かなり低め) $1.3\sigma \leq \text{平年偏差} < 2.0\sigma$

著しく高め (著しく低め) $2.0\sigma \leq \text{平年偏差}$

3) 定置観測 (水温)

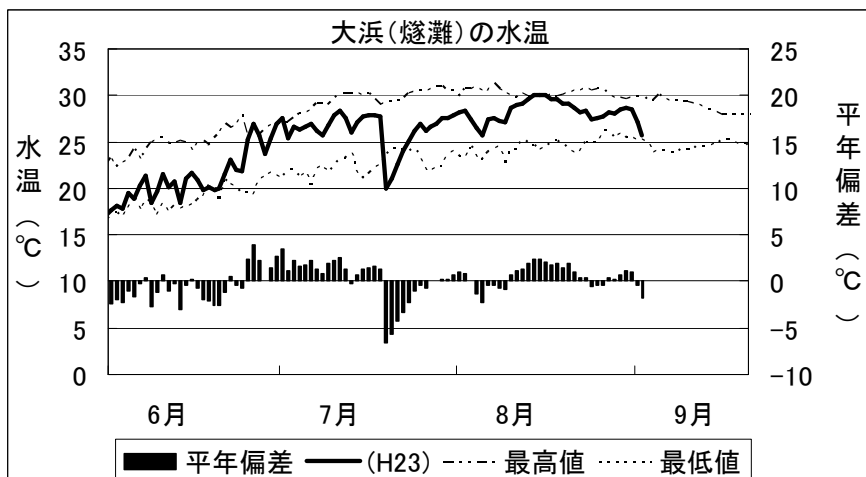
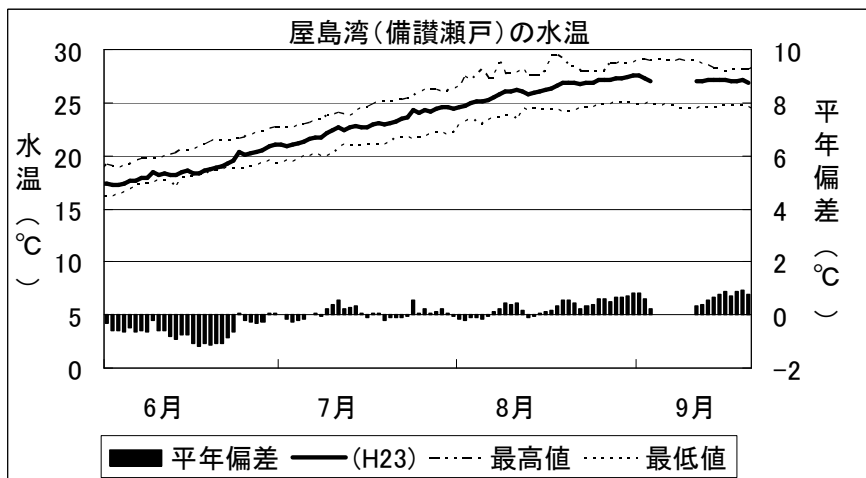
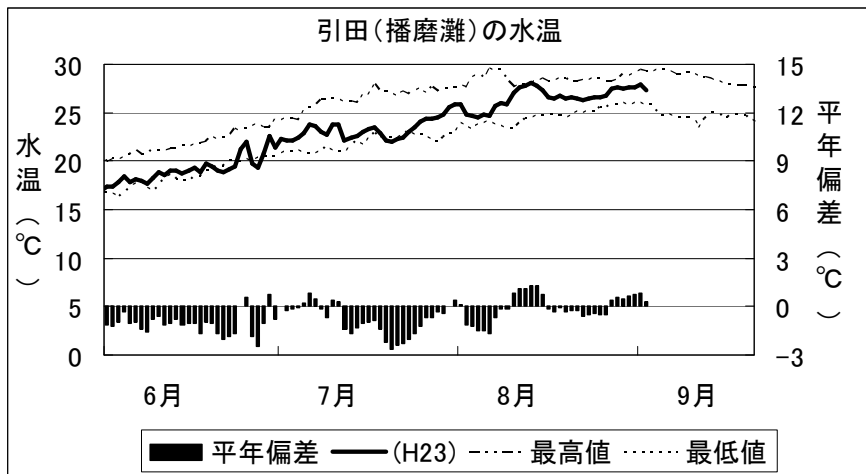
播磨灘 (引田)：6月はかなり低め、7月は平年並みからかなり低め、8月は平年並みに推移している。(6月下旬に6回、7月に2回、過去最低値を更新。)

備讃瀬戸 (屋島)：6月はやや低め、7月以降は平年並み、8月下旬はやや高めで推移している。

燧灘 (大浜)：6月以降はかなり低めからかなり高めまで大きく変動を繰り返していたが、8月下旬は平年並みで推移している。(6月中旬に2回、7月下旬に4回、過去最低値を、5月中旬に1回、6月下旬に2回、7月上旬に1回、8月中旬に3回、過去最高値を更新。)

※ 12号台風の影響で3カ所の自動観測装置が故障し、現在、復旧に向けて修理中のため欠測 (屋島ブイは仮復旧しています)。

平年値の算出期間 引田及び大浜：平成元 (1989) ～平成 22 (2010) 年
屋島：昭和 50 (1975) ～平成 22 (2010) 年



4) 赤潮 (8月25日～9月20日)

播磨灘：発生なし。
 備讃瀬戸：発生なし。
 燧灘：発生なし。

5) 卵稚仔

調査日：平成23年9月1日（備讃瀬戸，燧灘），5日（播磨灘）

出現量

－：平年値が0の場合を示す。（その他の魚類については平年値がない。）

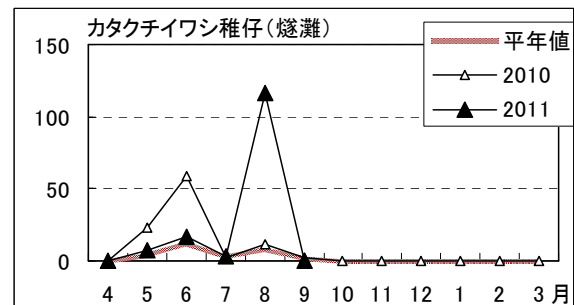
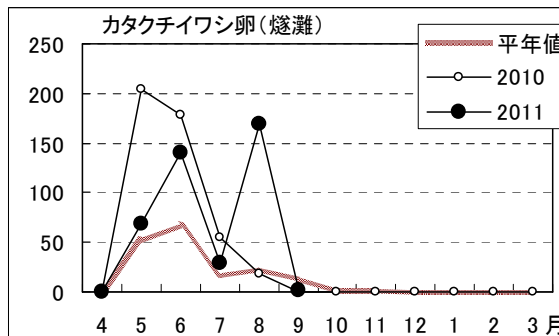
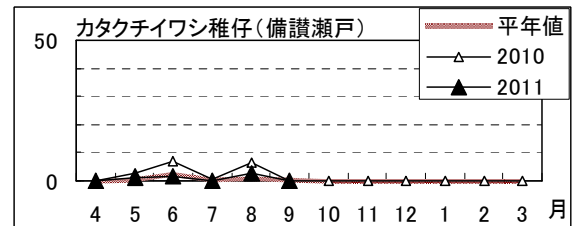
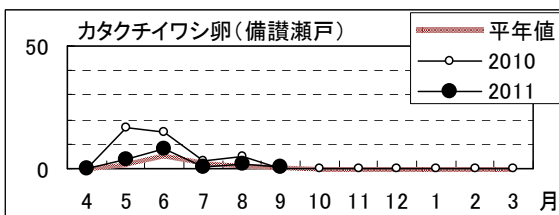
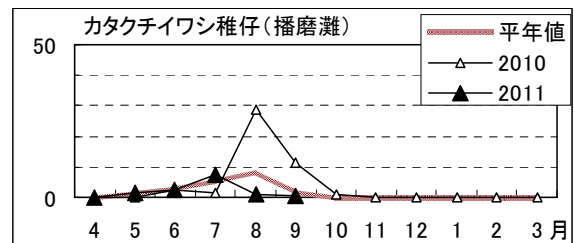
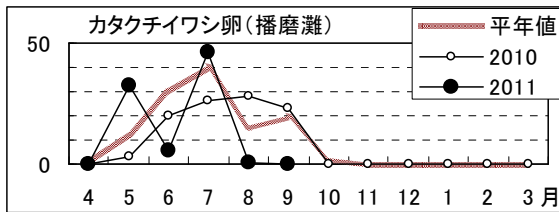
平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55（1980）年度～平成22（2010）年度

マイワシ：平成6（1994）年度～平成22（2010）年度

		カタクチイワシ		マイワシ		その他の魚類	
		卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘	平均値	0.1	0.4	0.0	0.0	8.3	10.6
	平年値	19.1	2.2	0.0	0.0		
	対平年(%)	1	17	－	－		
備讃瀬戸	平均値	0.7	0.2	0.0	0.0	11.7	4.1
	平年値	0.8	0.3	0.0	0.0		
	対平年(%)	85	57	－	－		
燧灘	平均値	0.9	0.0	0.0	0.0	2.7	2.1
	平年値	13.2	1.7	0.0	0.0		
	対平年(%)	6	0	－	－		
総平均	平均値	0.6	0.2	0.0	0.0	8.7	5.4
	平年値	9.6	1.6	0.0	0.0		
	対平年(%)	6	13	－	－		

マイワシの卵・稚仔は，平成14年度以降，確認されておりません。



2. 漁況

1) 8月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	<p>底びき網ではマダイ、アカカマス、メイタガレイ、ウシノシタ類、ネズッポ類、マアナゴ、アカエイ、ベイカ、マダコ、イイダコ、クルマエビ、小エビ類、ガザミ、アカニシなどが漁獲されている。</p> <p>あじ落網ではマアジ、マルアジ、マサバ、タチウオ、ヒラ、イシモチ、マナガツオ、ナシフグなどが漁獲されている。</p> <p>建網ではクロダイ、ウミタナゴ、メバル、カサゴなどが漁獲されている。</p>
備 讃 瀬 戸	<p>底びき網ではマダイ、クロダイ、セトダイ、メイタガレイ、ウシノシタ類、フグ類、コウイカ(小)、マダコ、イイダコ、クルマエビ、小エビ類、アカニシなどが漁獲されている。</p> <p>柵網ではクロダイ、スズキ、ボラなどが漁獲されている。</p> <p>建網ではマダイ、クロダイ、セトダイ、メバル、カサゴ、クルマエビなどが漁獲されている。</p>
燧 灘	<p>底びき網ではアカカマス、タチウオ、ハモ、マゴチ、ネズッポ類、フグ類、コウイカ、ベイカ、マダコ、シャコ、小エビ類などが漁獲されている。</p> <p>柵網ではマアジ(小)、アカカマス、ボラ、アオリイカ(小)などが漁獲されている。</p> <p>建網ではマダイ、キジハタ、メバル、カサゴなどが漁獲されている。</p>

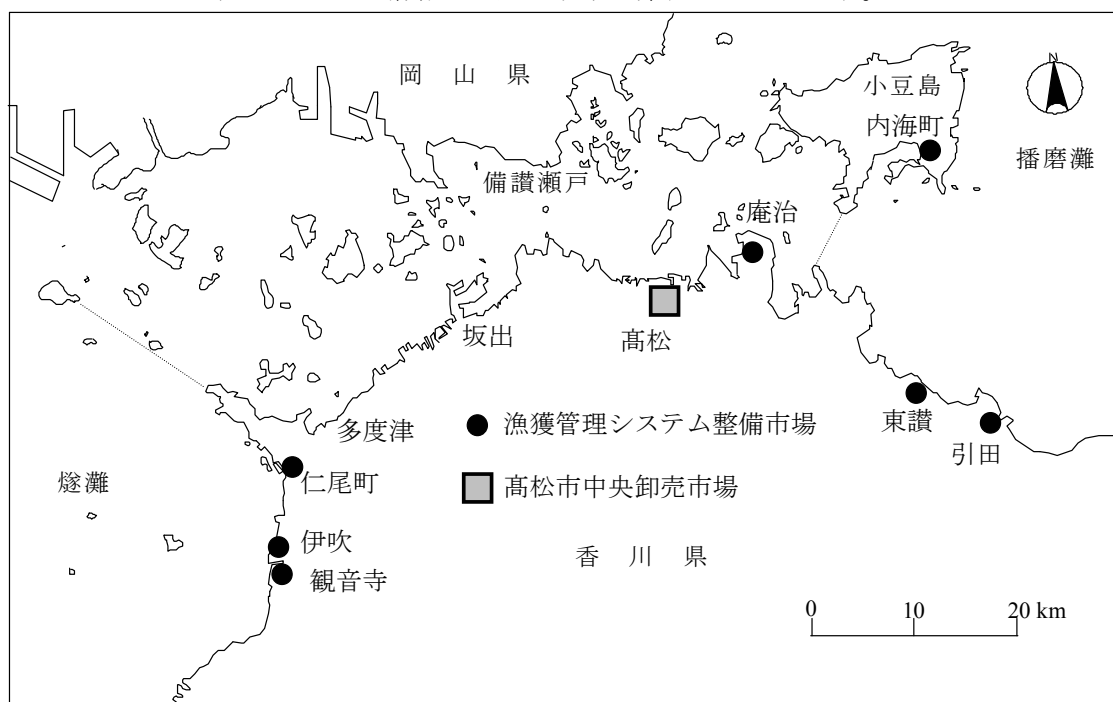
2) 香川県の漁獲情報

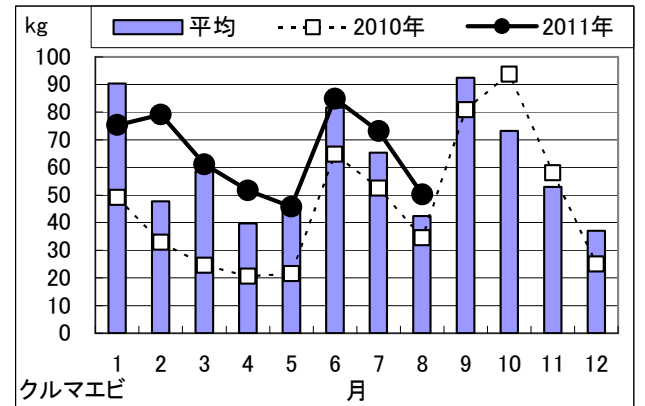
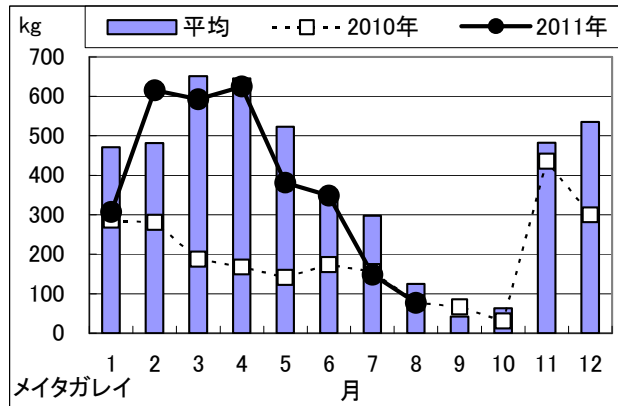
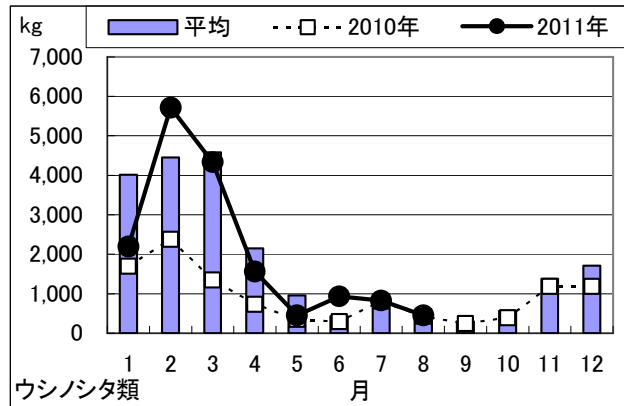
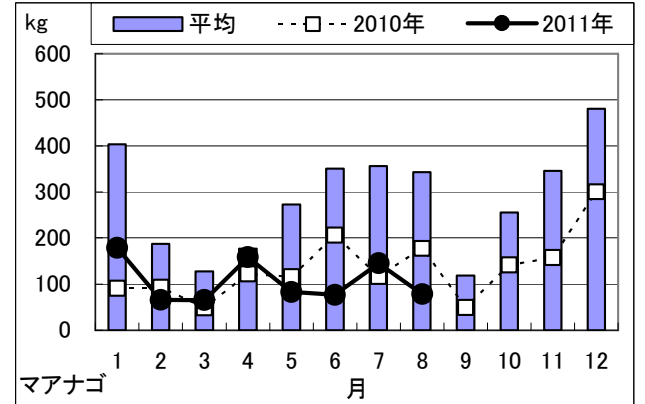
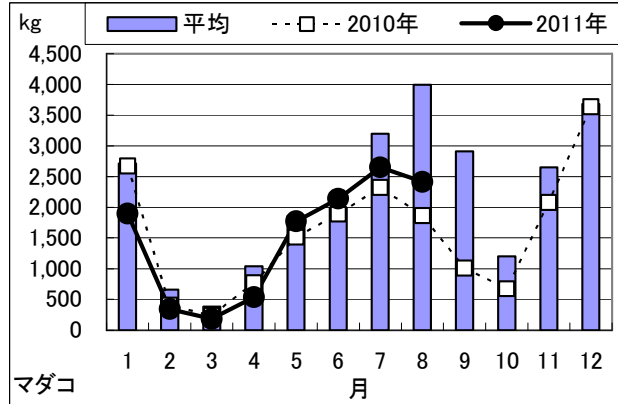
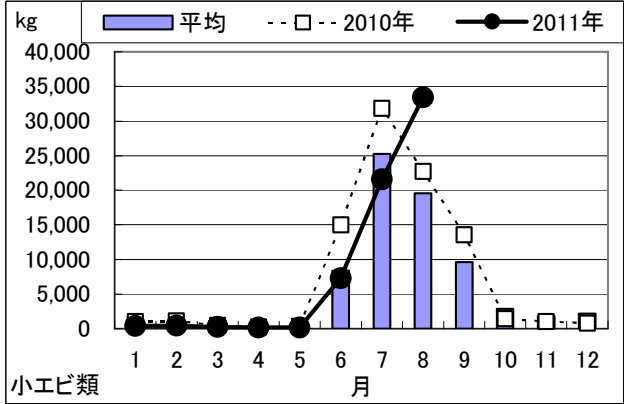
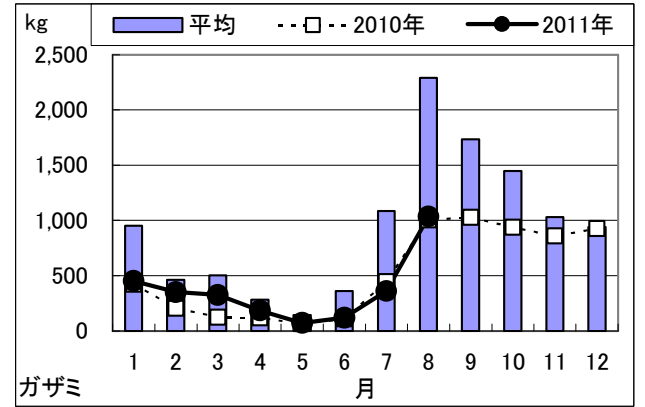
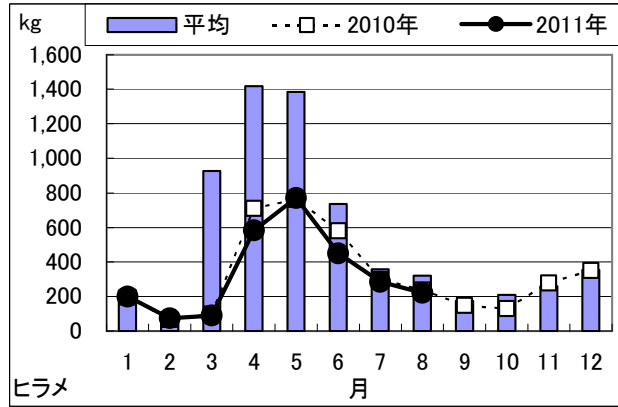
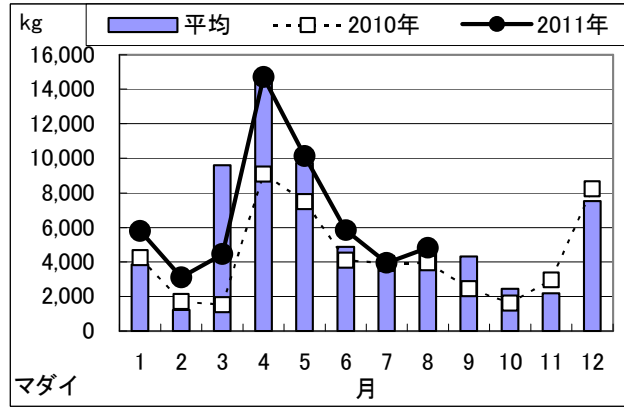
(1) 漁獲管理 (TAC) システムデータ

日本周辺の生物資源を適切に管理保存するためのTAC(漁獲可能量)を迅速に把握することを目的とした全国システムで、本県では以下の産地市場に整備されています。

(2) 高松市中央卸売市場データ

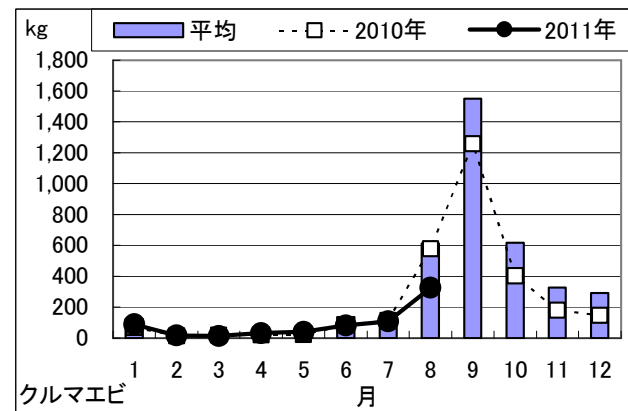
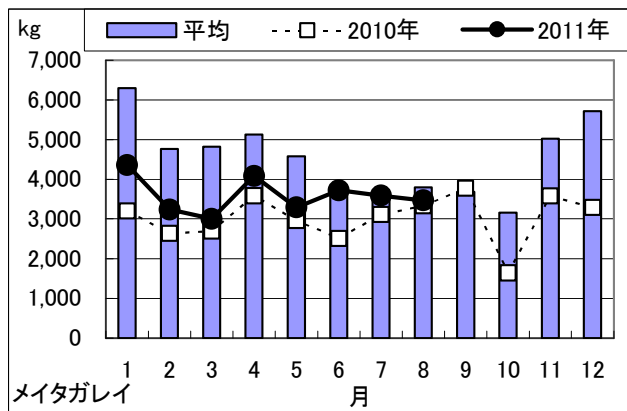
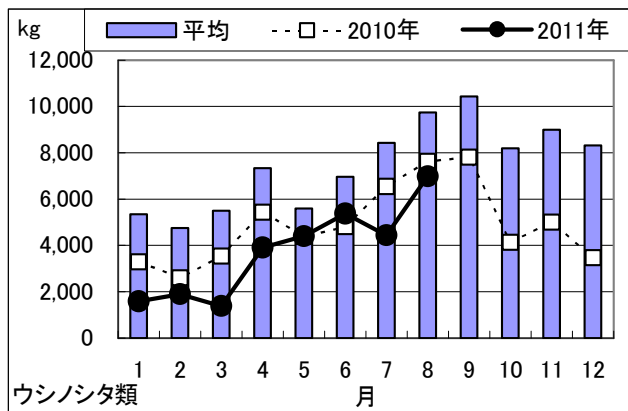
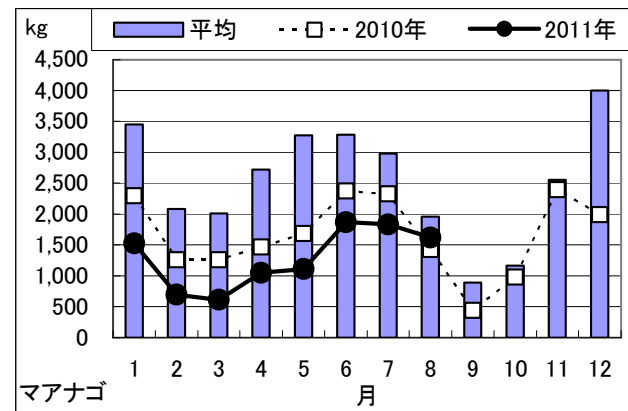
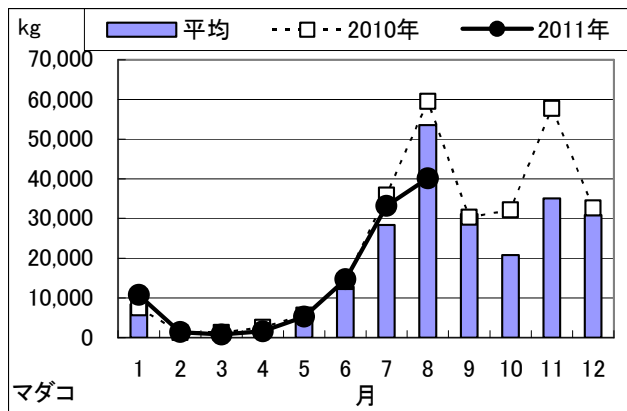
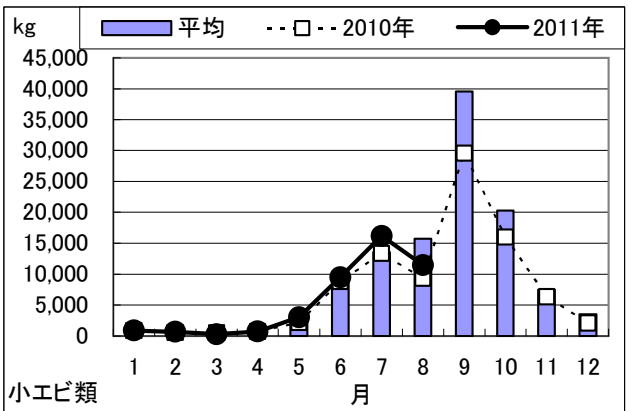
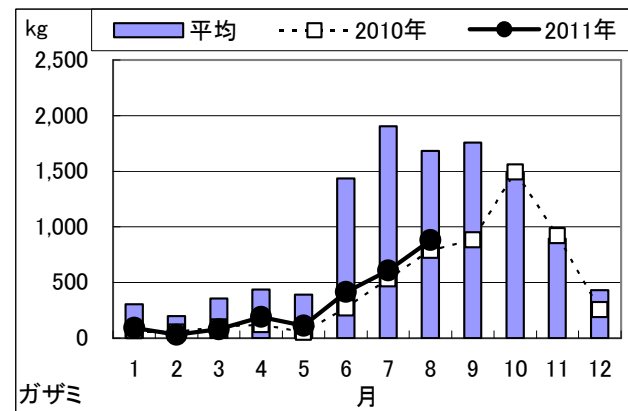
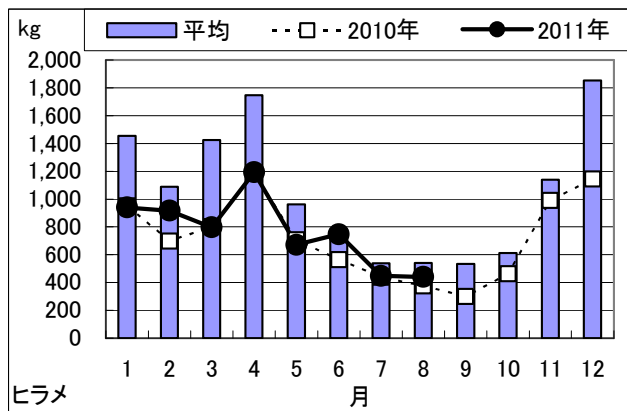
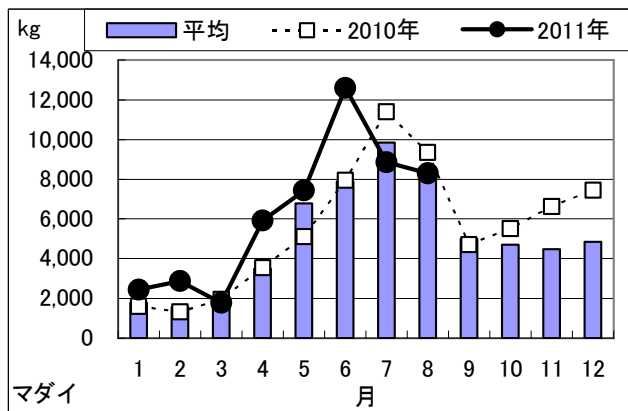
水産物のうち生鮮水産物(香川県全体から集荷されている)について、高松市中央卸売市場のホームページで公開されている情報を水産試験場で集計したものです。





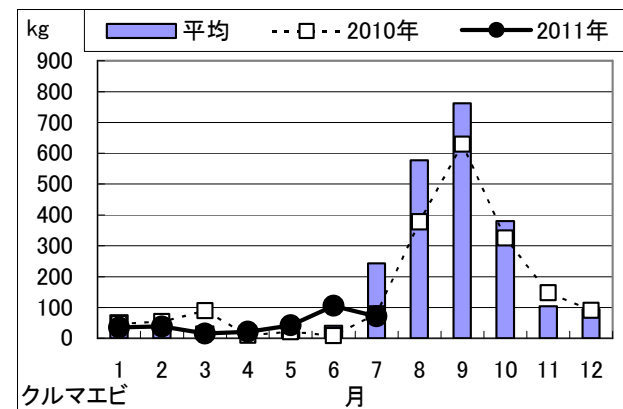
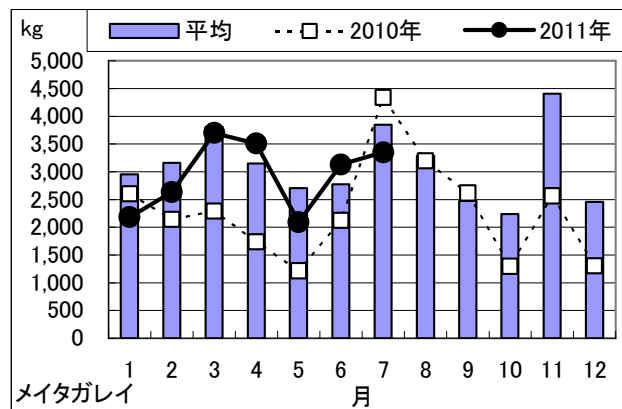
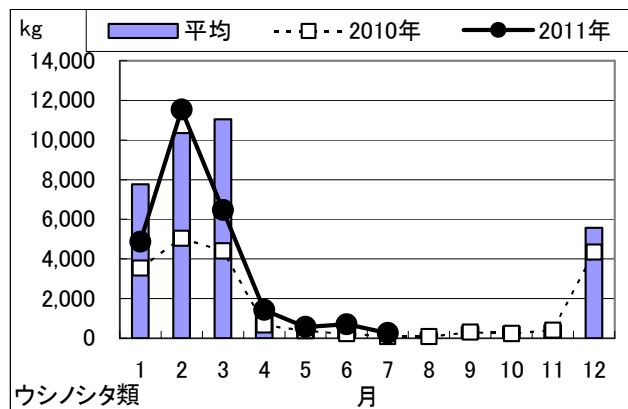
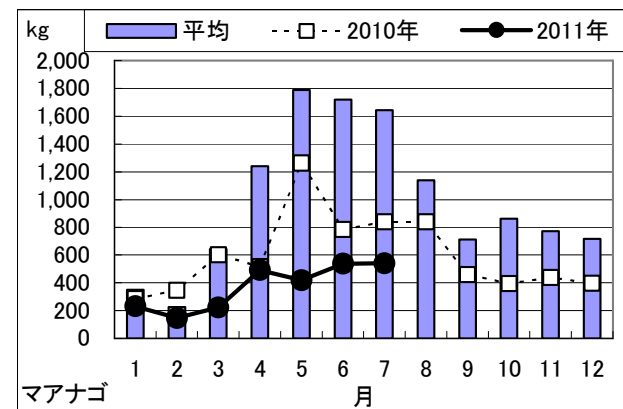
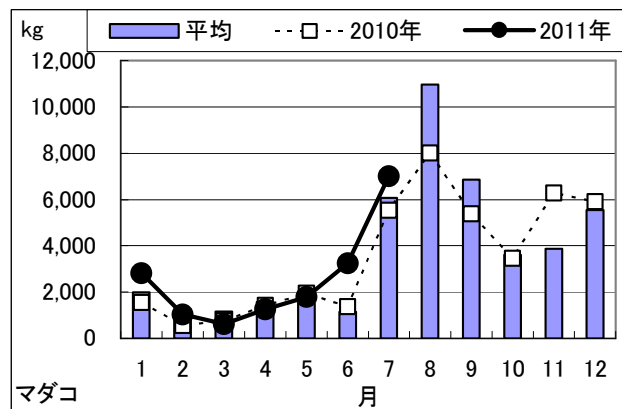
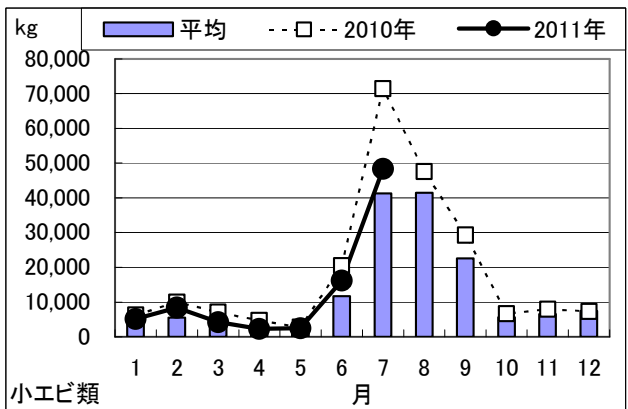
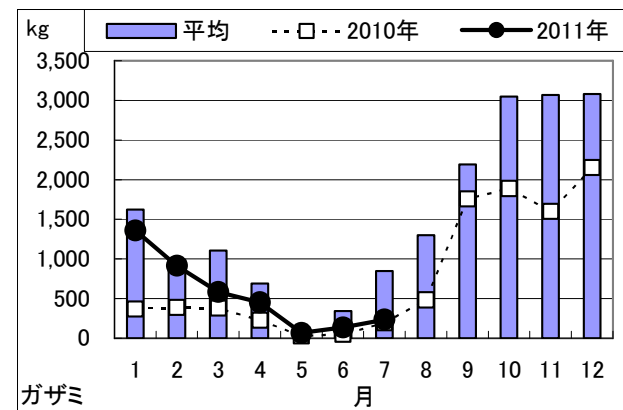
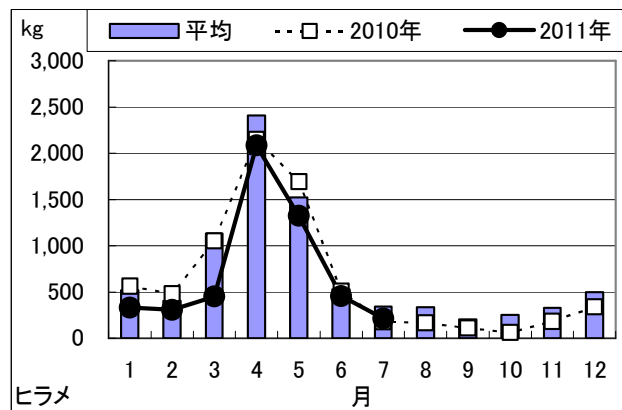
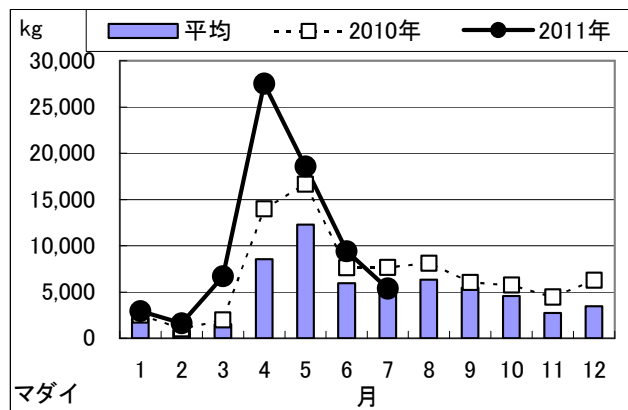
備讃瀬戸（庵治）TACデータより

平均値は、2006年から2010年の5年間の平均。



燧灘（仁尾町、観音寺、伊吹）のTACデータより（8月分はデータが揃っていません。）

平均値は、2006年から2010年の5年間の平均。



高松市中央卸売市場データ（県内ものの鮮魚：東讃・小豆・三豊地区も含む）より

（8月分は速報が出ていません。）

平均値は、2006年から2010年の5年間の平均。

